

吉川市福祉の拠点整備に関する報告書 (案)

吉川市福祉の拠点整備基本計画検討委員会

令和6年1月

1. はじめに

吉川市では、令和元年度に「吉川市庁舎跡地利活用検討委員会」を設置し、検討委員会において「地域コミュニティを支える福祉的な機能拠点が必要」、「民間の活用を検討」という報告がされました。

これらを踏まえ、吉川市福祉の拠点整備基本構想において、必要とする機能や整備の手法など基本的な考え方を定め、施設整備の方向性が示されました。

令和5年7月には、吉川市福祉の拠点整備基本計画検討委員会設置規則により、地元自治会をはじめ、福祉関係者、子育て世代や高齢者団体に所属している方、若者など、多様な世代の当事者を含む様々な分野からの委員で構成する、「吉川市福祉の拠点整備基本計画検討委員会」を設置し、福祉の拠点整備にあたり、導入機能、財政負担、事業手法などについて、4回の議論を重ねて参りました。

本報告書は、「吉川市福祉の拠点整備基本計画」を策定するにあたり、次のとおり市長に報告するものです。

令和6年1月12日

吉川市福祉の拠点整備基本計画検討委員会

2. これまでのプロセス

検討委員会では、吉川市福祉の拠点整備基本計画検討委員会設置規則に定められた、導入機能、財政負担、事業手法などについて、これまで4回の検討委員会を開催し、本報告書を作成いたしました。

回	日時	議題	主な意見
1	令和5年 8月18日(金)	(1)委員長・副委員長の選任について (2)基本構想、検討委員会の目的等について (3)民間活用について (4)導入機能について (5)サブコンセプトについて (6)その他	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や障がい者のための避難所がほしい。 ・障がい者のためのグループホームやショートステイ等の生活の居所としての機能がほしい。 ・障がい者家族の逃げ場(シェルター)機能がほしい。 ・軽い運動やトレーニングできる場所としての機能を検討してほしい。 ・高齢者や子ども連れの母親等、利用者同士が交流できる施設が良い。 ・自治会が利用できる会議スペースがほしい。 ・金銭面に重視しながら検討してほしい。
2	令和5年 10月25日(水)	(1)施設視察(和光市 広沢複合施設「わびあ」) (2)意見交換	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が健康維持できるような施設があるとよい。 ・駐車場を広く取らないと集客できなくなる。 ・民間のプールを含め、学校との連携について考えてはどうか。 ・音楽スペースなどがあると若者が集まるのではないかな。
3	令和5年 12月21日(木)	(1)導入機能について (2)施設規模、配置計画について (3)財政負担、事業手法について (4)その他	<p>(1)導入機能について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ショートステイを導入機能として検討してほしい。 ・高齢者には、旅行会社の窓口やスーパーと自宅の移動支援サービスを希望する意見がある。 <p>(2)施設規模、配置計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健センターの事業を阻害しないような施設配置にするべき。 ・公共施設の建て替え用地の活用を検討するべき。 <p>(3)財政負担、事業手法について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間事業者だけでは採算が合わない交流施設について、行政が一部負担する点は賛同する。
4	令和6年 1月12日(金)	(1)報告書(案)について (2)その他	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉的避難所の考え方について ・「福祉の拠点」の共通認識を更に図る必要があるのではないかと思う。 ・施設の運営に係る従事者にシルバー人材センターの会員を検討していただきたい。 ・テナントが長く運営できる対応を検討してほしい。

3. 検討委員会からの報告

庁舎跡地を福祉の拠点として整備するにあたり、よりよい施設整備に向けた福祉の拠点整備基本計画検討委員会としての意見を報告いたします。

(1) 導入機能

① 高齢者や障がい者の施設及び生活の居所等の機能

生活に不安を抱え日常生活の支援が必要な高齢者や障がい者、そしてその家族が利用することで、生活をより豊かにすることができる機能の導入について検討して下さい。

- ・重度障がい者が利用できるグループホーム、ショートステイ
- ・障がい者家族用のシェルター
- ・高齢者用グループホーム、ショートステイ

② 運動及び健康維持のための機能

高齢者の健康維持のための施設、若者のトレーニング施設、親子でも障がい者でも利用できるような運動施設の整備について検討して下さい。

- ・トレーニングジム
- ・健康器具等のある施設
- ・プール

③ 多世代が交流できる機能

年齢や障がいの有無に関わらず、市民の誰もが分け隔てなく交流することができたり、子育て中の保護者同士の情報交換、世代を超えた子育て情報の交換などができる場所の整備について検討して下さい。

- ・地域食堂
- ・カフェ
- ・児童遊戯施設
- ・交流スペース等

④ 若者を含めた誰もがレクレーションできる機能

若者などが興味を持って、かつ多世代とも交流ができる機能を検討して下さい。

- ・スポーツジム
- ・音楽室
- ・プール

⑤ 地域や事業者等が会議室等として利用できる機能

地域の方々や事業者の活動や会議などで利用できるスペースの整備について、検討して下さい。

- ・貸し会議室

(2) 運用

① 社会福祉協議会における相談機能の拡充

年齢・障がいの有無などに関わらず、子育て世代など、誰もが気軽に相談できる相談機能の強化を図ることについて、検討して下さい。

② 福祉的な避難所としての運用

水害等、自然災害が発生した際における、配慮が必要な方（高齢者や障がい者等）のための避難所としての運用について検討して下さい。

（３）配置計画

福祉の拠点を整備するにあたり、保健センター利用者の動線を配慮した配置を検討するとともに、公共施設の建て替え用地について、有効利用できるよう検討して下さい。

（４）財政負担

福祉の拠点を整備するにあたり、できるだけ民間事業者で、整備、運営ができる方法について検討して下さい。

交流施設など、施設の内容によって民間事業者での整備、運営が難しい場合は、一部、市の財政負担が必要になると考えております。

また、民間事業者の健全な財務状況を確保するために、必要に応じて市が財政負担することについて、十分な検討を行って下さい。

民間事業者において、福祉事業者向けのテナントスペースを整備した場合、その後、何らかの事情でテナント事業者の入れ替えがある際は、福祉に関する事業者であることを条件とするなど、福祉の拠点として機能する施設が継続できる仕組みを検討して下さい。

（５）事業手法

「吉川市庁舎跡地福祉の拠点整備基本構想」において、民間の豊富な経験とノウハウの活用、また、市の財政負担の低減を図るため、民間活力について最大限の活用を図っています。

サウンディング型市場調査の結果から、本事業は民間事業者による整備が可能であり、その手法については、定期借地権事業を想定した回答が複数あったことから、「定期借地権事業」による事業がふさわしいと考えます。

（６）今後の進め方

事業を具体化していく段階で、民間事業者との適切な対話を行って下さい。

吉川市福祉の拠点整備基本計画検討委員会委員名簿

所属・役職	氏名
東北大学名誉教授	宮本 和明
総務水道常任委員長	戸田 馨
文教福祉常任委員長	吉川 敏幸
関自治会長	中島 益雄
本吉川一区自治会長	竹内 寛
吉川市民生・児童委員協議会	島田良子
吉川市連合長寿会会長	岡田 喬
吉川市自立支援協議会委員	金井 玲
吉川市成人式実行委員会委員長	齋藤 千遥
一般公募	関根ゆかり
吉川市社会福祉協議会会長	今井 佳江